

開催レポート

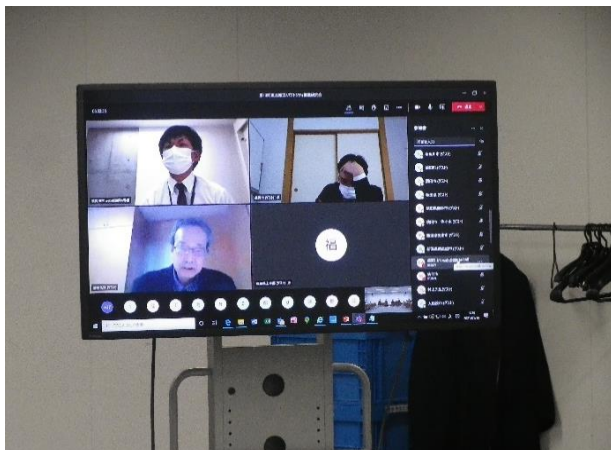
■第13回 東北発コンパクトシティ推進研究会開催概要

第13回となる今回は、令和3年1月18日に、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、初のWeb会議形式で開催しました。当日は、事例紹介（長岡市、見附市）、情報提供（須賀川市、東北地方整備局建政部）、各先生方からの話題提供という構成で行いました。

事例紹介では、長岡市より「水災害対策とまちづくりの連携について」、見附市より「スマートウェルネスみつけの実現～都市部と村部が持続する歩いて暮らせる健幸都市～」を紹介していただきました。

情報提供では、須賀川市より「防災指針の検討状況について」、東北地方整備局建政部より「都市行政に関する最近の国の動向」を紹介していただきました。

各先生方からの話題提供では、鈴木先生より「地方都市再生の課題-コンパクトシティのめざす方向-」、北原先生より「震災復興を経験した東北だからこそ将来につなげる立地適正化計画を覚悟を決めてつくるべきではないのか-震災復興から平時の都市計画へ-」、姥浦先生より「都市計画と災害リスクマネジメントについて」、村上先生より「災害リスクを踏まえた都市計画立地適正化計画のあり方」、松川先生より「事前アンケート結果に関する話題提供」をお話していただきました。



■開催日時・場所等

開催日：令和3年1月18日（月） 13：30～17：00

会場：仙台合同庁舎B棟12階 大会議室

主催：東北発コンパクトシティ推進研究会（事務局：国土交通省東北地方整備局）

後援：日本都市計画学会東北支部

出席者：学識者および国、県、市町村の都市計画担当者

（学識者）福島大学名誉教授 鈴木 浩 氏

弘前大学教授 北原 啓司 氏

東北大学大学院教授 姥浦 道生 氏

福島大学准教授 村上 早紀子 氏

長岡技術科学大学准教授 松川 寿也 氏

■開催プログラム・配布資料等

1. 開会
2. あいさつ
3. 事例紹介 「水災害対策とまちづくりの連携について」…………… Report1
（長岡市 都市整備部 都市計画課）
「スマートウエルネスみつけ」の実現～都市部と村部が持続する
歩いて暮らせる健幸都市～…………… Report2
（見附市 建設課）
4. 情報提供 「都市行政に関する最近の国の動向」…………… Report3
（国土交通省 東北地方整備局 建政部 都市・住宅整備課）
5. 話題提供 「地方都市再生の課題-コンパクトシティのめざす方向-」…… Report4
（福島大学名誉教授 鈴木 浩 氏）
「震災復興を経験した東北だからこそ将来につなげる立地適正化
計画を覚悟を決めてつくるべきではないのか-震災復興から平時
の都市計画へ-」…………… Report5
（弘前大学教授 北原 啓司 氏）
「都市計画と災害リスクマネジメントについて」…………… Report6
（東北大学大学院教授 姥浦 道生 氏）
「災害リスクを踏まえた都市計画 立地適正化計画のあり方」 Report7
（福島大学准教授 村上 早紀子 氏）
「事前アンケート結果に関する話題提供」…………… Report8
（長岡技術科学大学准教授 松川 寿也 氏）
6. 情報提供 「防災指針の検討状況について」…………… Report9
（須賀川市 建設部 都市計画課）
7. 閉会

Report1 【事例紹介】[【PDF資料】](#)**水災害対策とまちづくりの連携について**

長岡市 都市整備部 都市計画課

長岡市より、「水災害対策とまちづくりの連携について」と題して、コンパクトなまちづくりに向け、改定中の都市計画マスタープラン、長岡市立地適正化計画に基づく、具体的な取り組みと実績（まちなか居住区域定住促進事業）について紹介いただきました。また、災害リスクを踏まえたまちづくりへの取り組みとして、災害ハザードの状況、詳細なリスク分析等に基づき検討した対応策を今後に活かすため、防災指針を備えた立地適正化計画に改定する予定であることについてお話をいただきました。

Report2 【事例紹介】[【PDF資料】](#)**「スマートウエルネスみつけ」の実現
～都市部と村部が持続する歩いて暮らせる健幸都市～**

見附市 建設課

見附市より、「スマートウエルネスみつけ」の実現～都市部と村部が持続する歩いて暮らせる健幸都市と題して、「歩く」ことを基本とした「住んでいるだけで健やかに幸せに暮らせるまち」の実現にむけての取り組みである地域コミュニティゾーンの考え方、過度な車依存の脱却を可能とする公共交通の再整備、歩きたくなる快適な歩行空間の整備を紹介いただきました。また、中心市街地を中核とした賑わいづくり、地域住民が主体となり地域づくりを行う仕組みである地域コミュニティ組織の構築についてもご紹介いただきました。

Report3 【情報提供】**都市行政に関する最近の国の動向**

国土交通省 東北地方整備局 建政部 都市・住宅整備課

国土交通省東北地方整備局建政部都市・住宅整備課より、「都市行政に関する最近の国の動向」と題して、頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの創出による「魅力的な町づくり」についてお話をいただきました。また、各自治体の取り組みや、立地適正化計画や都市計画を策定する際に重要なこと、留意点についてもお話をいただきました。



Report4 【話題提供】

地方都市再生の課題 -コンパクトシティのめざす方向-

福島大学 名誉教授 鈴木 浩 氏

鈴木先生より、「地方都市再生の課題 -コンパクトシティのめざす方向-」と題して、話題提供をいただきました。都市計画法、建築基準法の制定から100年を迎え、21世紀においては、多発する激甚災害・複合災害にどう対応するかが大きな課題となってきたため、都市計画や地域計画の見直しが必要になっていること、その地域社会を見直す潮流はみられてきているが、「団体自治」と「住民自治」の関係は、行政側の認識に依存している傾向にあることについてお話をいただきました。



Report5 【話題提供】

震災復興を経験した東北だからこそ将来につなげる立地適正化計画を覚悟を決めてつくるべきではないのか -震災復興から平時の都市計画へ-

弘前大学 教授 北原 啓司 氏

北原先生より、「震災復興を経験した東北だからこそ将来につなげる立地適正化計画を覚悟を決めてつくるべきではないのか -震災復興から平時の都市計画へ-」と題し、話題提供をいただきました。各自治体からの事前アンケート結果をもとに、立地適正化計画の検証はどうあるべきなのか、人口減少の時代の都市計画制度という認識についてお話をいただきました。また、防災の観点からの立地適正化計画、持続可能な将来における都市計画の有り様につなげることにつながる、いま大事にしなければならない考え方についてもお話をいただきました。



Report6 【話題提供】

都市計画と災害リスクマネジメントについて

東北大学大学院 教授 姥浦 道生 氏

姥浦先生より、「都市計画と災害リスクマネジメント」と題し、話題提供をいただきました。土地利用計画策定の基本理論、計画決定の際の考慮事項の総合性（土地利用の総合的・相対的評価）についてお話をいただきました。また、「誘導」の難しさ、「さまざまな選択肢の提示」が本体的に重要であること、災害リスクマネジメントの総合性についてもお話をいただきました。その他に、リスク情報に関する最近の議論についてご紹介いただきました。



Report7 【話題提供】

災害リスクを踏まえた都市計画 立地適正化計画のあり方

福島大学 准教授 村上 早紀子 氏

村上先生より、「災害リスクを踏まえた都市計画 立地適正化計画」と題し、話題提供をいただきました。災害リスクと向き合った公共交通ネットワーク構築のゆくえ（立地適正化計画制度の意義と役割の一つ：都市計画と公共交通の一体化）、地方都市における公共交通の課題、安全・安心が確保された公共交通の実現について、お話をいただきました。また、交通事業者、地域住民と連携した北上市における交通政策の事例をご紹介いただきました。



Report8 【話題提供】

事前アンケート結果に関する話題提供

長岡技術科学大学 准教授 松川 寿也 氏

松川先生より、「事前アンケート結果に関する話題提供」と題し、お話しをいただきました。事前アンケートの設問項目である「災害リスクとの関係での誘導区域の設定にあたっての課題」については、長岡市の居住誘導区域を実例に、設定にあたっての重要なことについてお話しをいただきました。その他に、コンパクト・プラス・ネットワークを推進する取り組み下での郊外集落や都市計画区域外への対応についてもお話しをいただきました。



Report9 【情報提供】

防災指針の検討状況について

【PDF資料】

福島県 須賀川市 建設部 都市計画課

須賀川市より、「防災指針の検討状況について」と題し、情報提供をいただきました。令和元年度台風第19号豪雨災害の経験をふまえた対応方針として、防災指針の作成方針、主な対応内容（安全を最優先に考えた早期避難のための対策強化、支川における内水排水対策の強化等）についてご紹介をいただきました。また、防災指針検討にあたっての課題（浸水想定区域への居住誘導、住民意見の反映、災害リスク分析実施のためのデータ収集等）と、作業を振り返り気づいた点についてもお話しをいただきました。